

社会経済史学会

第89回全国大会プログラム

日時: 2020年6月27日(土)・28日(日)

会場: 神戸大学 六甲台第1キャンパス

6月27日(土)	8:30-	受付開始:本館1階 玄関
	9:00-12:30	自由論題報告[午前] 第1会場 日本史①:本館2階 232 第2会場 日本史②:本館2階 208 第3会場 日本史③:本館2階 212 第4会場 日本史④:本館2階 210 第5会場 西洋史①:本館3階 324 第6会場 西洋史②:本館3階 310 第7会場 アジア・アフリカ史:本館3階 320
	12:30-13:30	昼休み
	13:30-16:05	自由論題報告[午後] 第1~7各会場
	16:15-17:00	特別講演:出光佐三記念六甲台講堂
	17:10-18:00	会員総会:出光佐三記念六甲台講堂
	18:30-20:00	会員懇親会:アカデミア館 1階 食堂
6月28日(日)	8:45-	受付開始:本館1階 玄関
	9:00-12:00	パネルディスカッション[午前] 第1会場:本館3階 332 第2会場:本館2階 232 第3会場:本館3階 306 第4会場:本館2階 206
	12:00-13:00	昼休み
	13:00-16:00	パネルディスカッション[午後] 第1~4各会場

社会経済史学会 第89回全国大会実行委員会事務局

〒657-8510兵庫県神戸市灘区六甲台町2-1

神戸大学大学院経済学研究科 重富研究室内

問い合わせ: shakeishi89@gmail.com

日本史①

会場:本館2階232

第1会場

午前 **1** 9:00 – 9:45

日本経済史・日本史上での貨幣論・紙幣論に関する若干の考察 – 国際経済学と歴史制度分析における貨幣論・紙幣論の視点・位置づけの相違に関して –

報告者 **大越 良裕**(大分県公文書館非常勤嘱託職員)
司 会 **鎮目 雅人**(早稲田大学)

2 9:55 – 10:40

近世日本経済における東西相場違いについて

報告者 **鈴木 敦子**(大阪大学大学院経済学研究科助手)
司 会 **鎮目 雅人**(早稲田大学)

3 10:50 – 11:35

近世の先物取引と地域経済
– 津山米綿会所の事例から –

報告者 **山本 一夫**(東京大学大学院)
司 会 **落合 功**(青山学院大学)

4 11:45 – 12:30

近世地域社会の金融構造とその変容
– 播磨国赤穂田淵家の貸借関係をめぐるネットワーク –

報告者 **千原 義春**(青山学院大学大学院)
司 会 **加藤 慶一郎**(大阪商業大学)

午後 **5** 13:30 – 14:15

近世・近代移行期における薪炭林管理の変化と地域社会

報告者 **伊藤 悠**(東京大学大学院)
司 会 **中西 聡**(慶應義塾大学)

6 14:25 – 15:10

明治前期における旧萩藩主毛利家資産の由来と性格
– 加賀前田家との比較で –

報告者 **松村 敏**(神奈川大学)
司 会 **三浦 壮**(鹿児島大学)

7 15:20 – 16:05

工業化と労働力 – 構造変化の4か国比較 –
Industrialisation and the Labour Force: A Four-country Exposition of Structural Change

報告者 **斎藤 修**(一橋大学名誉教授)
司 会 **岡崎 哲二**(東京大学)

日本史②
会場:本館2階208

第2会場

午前 **1** 9:00 – 9:45

**考古学資料にみる大日本麦酒株式会社の
ガラス瓶製造とその影響**

報告者 梶木 理央(青山学院大学大学院)
司 会 橋口 勝利(慶應義塾大学)

2 9:55 – 10:40

**政治構造と日本電力業
－1880年代から電力国家管理まで－**

報告者 シャ・チエンシャオ(大阪大学)
司 会 北浦 貴士(明治学院大学)

3 10:50 – 11:35

**両大戦間期の蚕種業経営
－長野県下伊那郡座光寺村・伊那蚕業合
名会社の事例－**

報告者 田中 雅孝(飯田市歴史研究所調査研究員)
司 会 松村 敏(神奈川大学)

4 11:45 – 12:30

**同業者・関連業者組合による産業の組織
化の試みと効果
－戦間期日本における電球工業の事例から－**

報告者 宝利 ひとみ(立教大学)
司 会 橋野 知子(神戸大学)

午後 **5** 13:30 – 14:15

**綿業産地の形成史
－泉南地方と谷口房蔵－**

報告者 橋口 勝利(慶應義塾大学)
司 会 阿部 武司(国土館大学)

日本史③

会場:本館2階212

第3会場

午前 **1** 9:00 – 9:45**戦間期東京市における小売商店の職住関係**
－銀座通商店街の事例から－報告者 満園 勇(北海道大学)
司 会 廣田 誠(大阪大学)**2** 9:55 – 10:40**戦間期における山間部の生業と家族・社会関係**

－『鉄五郎日記』の分析を通して－

報告者 沼尻 晃伸(立教大学)
司 会 長谷部 弘(東北大学)**3** 10:50 – 11:35**大正後期における陸海軍政務官と軍刑法をめぐり議論**

－第一次加藤高明内閣を中心に－

報告者 野浪 雄貴(高崎経済大学大学院)
司 会 横井 勝彦(明治大学)**4** 11:45 – 12:30**1940年地方税法と明治地方自治体制の変容**

－地方団体の整理と「自治の移行」－

報告者 白木澤 涼子(立命館慶祥高等学校)
司 会 松沢 裕作(慶應義塾大学)午後 **5** 13:30 – 14:15**生産者の組織化と産地発展**

－戦後ノリ産業における産地の「個」から「組織」への変化－

報告者 日隈 美朱(名古屋経済大学)
司 会 大森 一宏(駿河台大学)**6** 14:25 – 15:10**1950年代日本海運業の欧州航路進出についての再検討**報告者 太田 仙一(飯田市歴史研究所研究員)
司 会 大島 久幸(高千穂大学)

日本史④
会場:本館2階210

第4会場

午前 **1** 9:00 – 9:45

高度成長期の「技術交流」政策構想
－「特許公開」と「国内技術交流」を中心に－

報告者 佐竹 康扶(中南財経政法大学非常勤講師・
早稲田大学大学院研究生)
司 会 沢井 実(南山大学)

2 9:55 – 10:40

「日本型」か「例外」か
－1950年代から1980年代におけるSONY
の製品開発プロセスの分析を通じて－

報告者 長谷部 弘道(杏林大学)
井澤 龍(滋賀大学)
司 会 沢井 実(南山大学)

3 10:50 – 11:35

経済白書と政府統計の責任ある顔
－1950年代の経済白書批判を読む－

報告者 ソン・ジュンウ(コロンビア大学大学院)
司 会 中村 宗悦(大東文化大学)

4 11:45 – 12:30

**戦後日本の高出生率期における妊娠女性
の特徴**

報告者 五十嵐 英梨香(東京大学大学院)
司 会 高橋 美由紀(立正大学)

午後 **5** 13:30 – 14:15

**1980年代における国鉄地方交通線の廃
止・バス転換問題と沿線自治体**
－第二次特定地方交通線＝湧網線の事例－

報告者 白鳥 圭志(東北学院大学)
司 会 恩田 睦(明治大学)

6 14:25 – 15:10

独立系新興企業の資金調達と地域金融機関
－日本電産の事例から－

報告者 林 直樹(京都大学大学院)
司 会 柴 孝夫(京都産業大学)

西洋史①

会場:本館3階324

第5会場

午前

1 9:55 – 10:40

近世イングランドにおける慈善信託基金の運用と農村教区ガバナンスに関する一考察 –エクイティ管轄権に基づく受託者と受益者の交渉のプロセスを中心に–

報告者 乾 秀明

司 会 勘坂 純市(創価大学)

2 10:50 – 11:35

18世紀イングランド農村地域の店舗経営と金融業務 –店舗主スティーブン・ハッチの経営文書の分析–

報告者 道重 一郎(東洋大学)

司 会 唐澤 達之(高崎経済大学)

3 11:45 – 12:30

1851年センサスから見る19世紀中期イングランドにおける女性の結婚と労働

報告者 陳 夢園(大阪大学大学院)

司 会 奥田 伸子(名古屋市立大学)

午後

4 13:30 – 14:15

18世紀後半ザクセン繊維産業における知識の受容と拡がり
–懸賞課題に着目して–

報告者 堀井 誠史(神戸大学大学院)

司 会 馬場 哲(武蔵野大学)

西洋史②
会場:本館3階310

第6会場

午前

1 9:55 – 10:40

アメリカの歴史教科書における第二次世界大戦中の社会変動 – 1941～1945年のアメリカ国民生活の変遷を中心に –

報告者 大島 京子(東洋哲学研究所研究員)
司 会 未定

2 10:50 – 11:35

第一次大戦前フランス銀行の支店経営に関する試論 – 19世紀後半のアヴィニオン支店の事例を中心に –

報告者 武田 佑太(愛知淑徳大学)
司 会 未定

3 11:45 – 12:30

1932年オタワ会議とイギリス投資利害 – 英豪関係の検討を中心に –

報告者 佐藤 純(東北学院大学)
司 会 坂本 優一郎(関西学院大学)

午後

4 13:30 – 14:15

多国間合意の限界
– 国際連盟と租税条約の15年 –

報告者 井澤 龍(滋賀大学)
司 会 須藤 功(明治大学)

5 14:25 – 15:10

天野為之(1861-1938)
– 日本で最初の近代経済学者(マクロ経済学者) –

報告者 池尾 愛子(早稲田大学)
司 会 未定

アジア・アフリカ史
会場:本館3階320

第7会場

午前 **1** 9:00 – 9:45

20世紀後半、日本・中国・フィリピンにおける日本住血吸虫症の制圧

報告者 飯島 渉(青山学院大学)
司 会 脇村 孝平(大阪経済法科大学)

2 9:55 – 10:40

弱者の技術

ーポンプ・竜骨車・風車の利用からみた日本統治期台湾ー

報告者 都留 俊太郎(京都大学人文科学研究所)
司 会 平井 健介(甲南大学)

3 10:50 – 11:35

バタヴィアの「アヘン経済」, 1770-1800年
ーオランダ東インド会社とイギリス東インド会社による二重のアヘン独占体制による影響と帰結ー

報告者 大久保 翔平(東京大学大学院)
司 会 西村 雄志(関西大学)

4 11:45 – 12:30

20世紀初頭ベトナム南部における食糧問題
ー1911~12年の米価高騰と植民地政府の対応ー

報告者 池田 昌弘
(神戸大学大学院経済学研究科研究員)
司 会 宮田 敏之(東京外国語大学)

午後 **5** 13:30 – 14:15

清末民初の後進地域における国家予算と地方予算
ー広西を事例としてー

報告者 佐藤 淳平(岡山大学)
司 会 久保 亨(信州大学)

6 14:25 – 15:10

1920-30年代江南デルタにおける外米流通のルートの形成
ー地域間分業と米穀需給動向に関する検討ー

報告者 篠根 拓人(慶應義塾大学大学院)
司 会 村上 衛(京都大学)

時間: 16:15 – 17:00
会場: 出光佐三記念六甲台講堂

特別講演

“Infrastructure and Institutions: Lessons from History”

Speaker / 講演者

Professor Dan Bogart, UC Irvine

Abstract / 講演要旨

It is popular to look at history to better understand infrastructure in the economy. Many studies quantify the effects of infrastructures on income and welfare in the past, with the aim of informing policy makers today. A different group of studies examines how infrastructures came about, how they were owned and regulated, and how they were priced. While diverse in their message, the fundamental role of institutions is a common theme. This talk reflects on this second group because it offers a different perspective and is equally useful for current development. I focus on how institutions have affected the development of infrastructure networks, their ownership and regulatory structures, and accessibility to the population. The scope ranges from cross country to within country studies, and comparative works.

Biography / 講演者略歴

Education:

Ph.D., Economics, UCLA, 2003; M.A., Economics, UCLA 2000;
B.S., Economics, University of Minnesota 1998; B.A., Summa Cum Laude, History, University of Minnesota 1998; B.A., Mathematics, University of Minnesota 1998

Employment:

2003-2009, Assistant professor, Department of Economics, UC Irvine
2009-2019, Associate professor, Department of Economics, UC Irvine
2019 present, Professor, Department of Economics, UC Irvine

Editorial and other social activities (selective):

2009-2013, Editorial Board, *Journal of Economic History*
2015-2018, Co Editor, *European Review of Economic History*
2018 present, Co Editor, *Journal of Economic History*
2018 present, Executive committee member, International Economic History Association (IEHA)

Publications(Selective) / 主な業績

1. “Extractive Institutions? Investor returns to Indian railway companies in the Age of High Imperialism” (joint with Latika Chaudhary), *Journal of Institutional Economics* 15 (2019): 751-774.
2. “Canal Carriers and Creative Destruction in England's Transport Sector” (joint with Mike Lefors and Max Satchell). *Explorations in Economic History* 71 (2019): 1-24.
3. “Party Connections, Interest Groups, and the Slow Diffusion of Infrastructure: Evidence from Britain's First Transport Revolution.” *Economic Journal* 128 (2018): 541-575.
4. “Engines of Growth: The Productivity Advance of Indian Railways, 1874-1912” (joint with Latika Chaudhary). *Journal of Economic History* 73 (2013): 339-370 (awarded the Cole Prize for the best article in *Journal of Economic History* 2013).
5. “A Global Perspective on Railway Inefficiency and the Rise of State Ownership, 1880-1912.” *Explorations in Economic History* 47 (2010): 158-178.
6. “Making Property Productive: Reorganizing Rights to Real and Equitable Estates in Britain, 1600-1830” (joint with Gary Richardson). *European Review of Economic History* 13 (2009): 3-30.
7. “Did the Glorious Revolution Contribute to the Transport Revolution? Evidence from Investment in Roads and Rivers.” *Economic History Review* 64 (November 2011), 1073-1112.
8. “Nationalizations and the Development of Transport Systems: Cross-Country Evidence from Railroad Networks: 1860-1912.” *Journal of Economic History* 69 (2009): 202-237.
9. “Turnpike Trusts and the Transportation Revolution in Eighteenth Century England.” *Explorations in Economic History*, 42 (2005): 479-508 (awarded the Explorations Prize for best article in *Explorations in Economic History* 2005).

時間: 17:10 – 18:00 会場: 出光佐三記念六甲台講堂

会員総会

時間: 18:30 – 20:00 会場: アカデミア館1階 食堂

会員懇親会

午前
時間: 9:00 - 12:00

パネルディスカッション

パネル1 第1会場: 本館3階332

オーガナイザー 鎮目 雅人(早稲田大学)

信用貨幣の生成と展開

ー近世から近代移行期の日本を題材にー

司会者 高木 久史(安田女子大学)
報告者 加藤 慶一郎(大阪商業大学)
安国 良一(住友史料館)
鎮目 雅人(早稲田大学)

討論者 粕谷 誠(東京大学)
鈴木 俊夫(慶應義塾大学名誉教授)

パネル2 第2会場: 本館2階232

オーガナイザー 谷本 雅之(東京大学)

比較史からみる生活の存立構造

ー17-20世紀の日本とプロイセンを手がかりにー

司会者 谷本 雅之(東京大学)
報告者 飯田 恭(慶應義塾大学)
荒武 賢一郎(東北大学)
木下 光生(奈良大学)
谷本 雅之(東京大学)

討論者 永山 のどか(青山学院大学)
岸本 美緒(お茶の水女子大学名誉教授)

パネル3 第3会場: 本館3階306

オーガナイザー 木村 健二(下関市立大学名誉教授)

近代国家成立期における地域社会の変容

ー山口県旧宮野村役場文書の分析を中心にー

司会者 勝部 真人(広島大学名誉教授)
報告者 木村 健二(下関市立大学名誉教授)
木部 和昭(山口大学)
真木 奈美(山口大学非常勤講師)
奥 須磨子(和光大学名誉教授)

討論者 松沢 裕作(慶應義塾大学)

パネル4 第4会場: 本館2階206

オーガナイザー 長谷部 弘(東北大学)

村落社会の市場経済化と共同性の諸相

ー近世における上塩尻村(長野県上田市)の事例分析からー

司会者 高橋 基泰(愛媛大学)
報告者 長谷部 弘(東北大学)
村山 良之(山形大学)
山内 太(京都産業大学)
岩間 剛城(近畿大学)

討論者 井川 克彦(日本女子大学)
高橋 美由紀(立正大学)

午後
時間: 13:00 - 16:00

パネルディスカッション

パネル1 第1会場: 本館3階332

オーガナイザー 中西 聡(慶應義塾大学)

近代日本における林業資産家の多角的事業展開

— 吉野林業と永田家 —

司会者 山口 由等(愛媛大学)

討論者 飯田 恭(慶應義塾大学)

報告者 中西 聡(慶應義塾大学)

渡邊 恵一(駒澤大学)

北澤 満(九州大学)

パネル2 第2会場: 本館2階232

オーガナイザー 村上 衛(京都大学)

転換期中国・インドにおける資源配分

— 土地・労働力・航運 —

司会者 城山 智子(東京大学)

小川 道大(金沢大学)

報告者 村上 衛(京都大学)

木越 義則(名古屋大学)

富澤 芳亜(島根大学)

討論者 岡本 隆司(京都府立大学)

神田 さやこ(慶應義塾大学)

脇村 孝平(大阪経済法科大学)

田口 宏二郎(大阪大学)

石川 亮太(立命館大学)

パネル3 第3会場: 本館3階306

オーガナイザー 大塩 量平(立命館大学)

近代イギリス・ヨーロッパの消費と生産

— 消費史研究の新視角の模索 —

司会者 大塩 量平(立命館大学)

討論者 菊池 雄太(立教大学)

報告者 眞嶋 史叙(学習院大学)

新川 徳彦(学習院大学非常勤講師)

大塩 量平(立命館大学)

パネル4 第4会場: 本館2階206

オーガナイザー 中林 真幸(東京大学)

日本中世経済史の回顧と展望

司会者 中村 尚史(東京大学)

高島 正憲(関西学院大学)

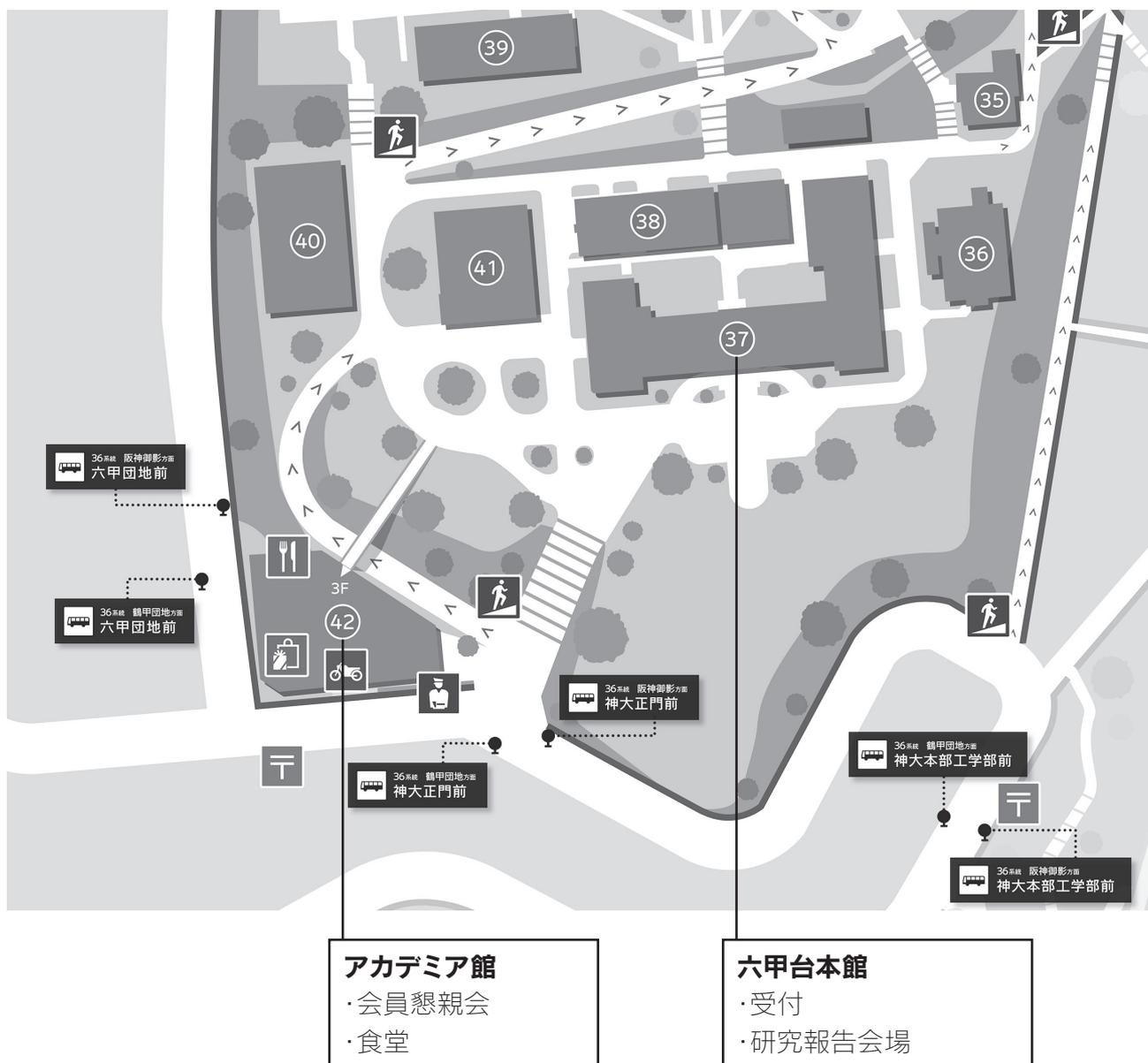
報告者 中林 真幸(東京大学)

討論者 佐藤 泰弘(甲南大学)

西谷 正浩(福岡大学)

早島 大祐(関西学院大学)

綿貫 友子(神戸大学)



アクセス

阪急神戸線「六甲駅」ないしJR神戸線「六甲道駅」、ないし阪神本線「御影駅」下車
いずれの駅からも、神戸市バス36系統「鶴甲団地」行き乗車、「神大正門前」で下車

※バス乗車時間は「六甲駅」から10分、「六甲道駅」から20分、「御影駅」から30分ほど

※アクセス情報は、近日開設の大会ホームページにも掲載される予定です